# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | テイクワンーＲ |
| 会社 | 日本曹達株式会社 |
| 住所 | 〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１ |
| 担当部門 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| FAX 番号 | 03-3245-6248 |
| 緊急連絡先情報 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| 夜間緊急連絡先 | 千葉工場警備室（夜間・休日） |
| 電話番号 | 0436-23-2019 |
| SDS 作成日 | 2008 年 09 月 24 日 |
| SDS 改訂日 | 2016 年 04 月 01 日(04 版) |

## 2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

| | |
|---|---|
| 爆発物 | 分類対象外 |
| 可燃性又は引火性ガス | 分類対象外 |
| エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性又は酸化性ガス | 分類対象外 |
| 高圧ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 分類対象外 |
| 可燃性固体 | 分類できない |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| 自然発火性固体 | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| 酸化性液体 | 分類対象外 |
| 酸化性固体 | 分類できない |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性 | 分類できない |
| 急性毒性：経口 | 区分外 |
| 急性毒性：経皮 | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（ガス） | 分類対象外 |
| 急性毒性：吸入（蒸気） | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（粉塵・ミスト） | 分類できない |

| | |
|---|---|
| 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 | 区分 2 |
| 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | 区分 1 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 水生環境有害性（急性） | 区分 3 |
| 水生環境有害性（長期間） | 区分 3 |

【ラベル要素】

絵表示（GHS-JP）

注意喚起語　危険

危険有害性情報(健康有害性)

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

危険有害性情報(水生毒性)

水生生物に有害

長期的影響により水生生物に有害

(安全対策)

取扱い後、顔、手をよく洗うこと。

保護眼鏡(ゴーグル式)/保護面/保護手袋を着用すること。

環境への放出を避けること。

(応急措置)

皮膚（または髪）に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再利用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

(保管)

換気のよい場所で保管すること。涼しいところで保管すること。

(廃棄)

内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物

化学名　　スルファミン酸、コハク酸を含む尿石防止剤

| 化学名 | CAS 番号 | 濃度 | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 化審法番号 | 安衛法番号 |
| スルファミン酸 | 5329-14-6 | 約 60% | NH2SO3H | 1-402 | なし(公表化学物質扱い) |
| コハク酸 | 110-15-6 | 約 35% | 末尾に記載 | 2-846 | なし（公表化学物質扱い) |

その他賦形剤

含有量　　約 5%

《スルファミン酸 の別名》

アミド硫酸

---

## 4. 応急措置

飲み込んだ場合

口をすすぐ。気分が悪い時は、医師に連絡する。

吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当て受ける。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合は、外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師に連絡する。

---

## 5. 火災時の措置

火災時の措置

空気呼吸器及びその他の保護具を着用し、風上から消火する。火災に際し、アンモニア、窒素の酸化物、硫黄の酸化物の有害な蒸気やガスが発生する。周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移す。

移動不可能な場合は容器及び周辺に散水して冷却する。

適する消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、霧状の水。

---

## 6. 漏出時の措置

漏出時の措置

回収作業は風上から行う。回収作業の際は、保護具を着用する。保護具については「ばく露防止及び保護措置」の項を参照のこと。飛散したものは、掃き集め、できるだけ空容器に回収する。製品は玉状なので、形状の崩れていないものは拾い集めてもよい。

回収したあとは、多量の水で洗い流す。洗い流す場合、濃厚な廃液が河川等へ流入しないよう注意する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

作業の際は、保護具を着用して取り扱う。保護具については「ばく露防止及び保護措置」の項を参照のこと。

取扱い後は、手をよく洗う。衣類に付着した場合は着替える。

保管

火気厳禁

直射日光の当たらない換気の良い屋内に保管する。

酸化剤、さらし粉（次亜塩素酸ナトリウム・液を含む）等と隣接して保管しない。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

《スルファミン酸 のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 設定されていない（2011 年度） |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 設定されていない（2011 年度） |

《コハク酸 のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 設定されていない（2011 年度） |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 設定されていない（2011 年度） |
| 発ガン性　ＩＡＲＣ | 記載なし |

設備対策

特になし。

保護眼鏡

ゴーグル型

保護手袋

ゴム製、塩化ビニール製、ポリエチレン製等。

呼吸用保護具

有機ガス用防毒マスク(事故時)。空気マスク(火災時) 。

保護衣

耐薬品性の長そで、長ズボン。

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 形状 | 錠剤 |
| 色 | 黄色 |
| 臭い | 特有の臭気あり |

融点

180℃

密度

嵩密度：1.16～1.19

溶解度

水に溶解する

引火点

177℃（クリーブランド開放式）

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性

スルファミン酸:不燃性で、通常の取扱いでは安定であるが、190～206℃で分解して窒素及び硫黄酸化物、アンモニア等の有害なガスを発生する。

コハク酸:通常の取扱いでは安定である。

## 11. 有害性情報

有害性情報

皮膚腐食性/刺激性：区分２のスルファミン酸を 10%以上含有するため区分 2 とした。

眼刺激性：区分 1 のコハク酸を 3%以上含有するため区分 1 とした。

急性毒性（経口）：加算式より区分外とした。

皮膚刺激性

《スルファミン酸のデータ》

強い刺激性　(ｳｻｷﾞ)　：（500mg/24hr）〔＊01〕

眼刺激性

《スルファミン酸のデータ》

強い刺激性　(ｳｻｷﾞ)　：（250μg/24hr）〔＊01〕

《コハク酸のデータ》

強い刺激性　(ｳｻｷﾞ)　：0.75mg〔＊02〕

急性経口毒性

《スルファミン酸のデータ》

LD50（ﾗｯﾄ）：3160mg/kg〔＊01〕

《コハク酸のデータ》

LD50（ﾗｯﾄ）：2260mg/ｋｇ〔＊03〕

## 12. 環境影響情報

環境影響情報

製品のデータはなく、成分についての試験結果は次の通り。

1）水生毒性（急性）：分類した成分の加算による混合物の分類により区分 3 とした。

2）水生毒性（慢性）：スルファミン酸は急速分解性ではない。分類した成分の加算による混合物の分類により区分 3 とした。

急性魚毒性

《スルファミン酸のデータ》

LC50（Fathead minnow）：70.3mg/L（96hr）〔＊04〕

《コハク酸のデータ》

EC50(ｵｵﾐｼﾞﾝｺ)：374.2mg/L（24hr）〔＊05〕

## 13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

内容物/容器をゴミ箱または河川、湖、海等の公共水系へそのまま廃棄してはならない。

内容物/容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

## 14. 輸送上の注意

輸送上の注意

荷役中の取扱いは慎重丁寧にし、手カギやフォークリフトの爪による突き刺し、落下、衝撃等により容器を傷め内容物を飛散させてはならない。

運送中は直射日光や雨水の浸透を防止するための被覆等をするとともに、容器が転落・転倒しないよう注意する。

酸化剤、さらし粉等との混載を避ける。

国連分類(クラス)

該当せず

容器等級

なし

国連番号-品名

なし

海洋汚染物質

非該当

## 15. 適用法令

| | | |
|---|---|---|
| 労働安全衛生法 | ： | 通知対象物質　非該当<br>表示対象物質　非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | ： | 非該当 |
| 消防法 | ： | 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法） | ： | 非該当 |

## 16. その他の情報

記載内容の問合せ先

日本曹達株式会社　千葉研究所　第三研究部　(TEL：0436-23-4987　FAX：0436-23-4934)

引用文献

〔＊01〕NIOSH,Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 1985-1986
〔＊02〕HSDB
〔＊03〕N.I Sax et a l, Dangerous Properties of Industrial Materials 9th ed.(1996)
〔＊04〕ECETOC TR91,2003
〔＊05〕EPA HPV

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中毒１１０番 | 一般市民専用電話 | （大　阪） | 072-727-2499（情報料無料）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-852-9999（情報料無料）<br>365 日 9～21 時対応 |
| | 医療機関専用有料電話 | （大　阪） | 072-726-9923（1 件 2000 円）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-851-9999（1 件 2000 円）<br>365 日 9～21 時対応 |

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。

$CH_2COOH$
|
$CH_2COOH$

CAS 番号　　：　110-15-6

化学名　　：　コハク酸

管理番号 ： N5-6885601

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | テイクワンＢＳ－９６Ｆ |
| 会社 | 日本曹達株式会社 |
| 住所 | 〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１ |
| 担当部門 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| FAX 番号 | 03-3245-6248 |
| 緊急連絡先情報 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| 夜間緊急連絡先 | 千葉工場警備室（夜間・休日） |
| 電話番号 | 0436-23-2019 |
| SDS 作成日 | 2010 年 09 月 17 日 |
| SDS 改訂日 | 2016 年 04 月 01 日(03 版) |

## 2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

| | |
|---|---|
| 爆発物 | 分類対象外 |
| 可燃性又は引火性ガス | 分類対象外 |
| エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性又は酸化性ガス | 分類対象外 |
| 高圧ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 分類対象外 |
| 可燃性固体 | 分類できない |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| 自然発火性固体 | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| 酸化性液体 | 分類対象外 |
| 酸化性固体 | 分類対象外 |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性 | 分類できない |
| 急性毒性：経口 | 区分外 |
| 急性毒性：経皮 | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（ガス） | 分類対象外 |
| 急性毒性：吸入（蒸気） | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（粉塵・ミスト） | 分類できない |

| | |
|---|---|
| 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | 区分 ２ |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 区分 1B |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 区分 １Ｂ |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 水生環境有害性（急性） | 区分 ２ |
| 水生環境有害性（長期間） | 区分 ２ |

【ラベル要素】

絵表示（GHS-JP）

注意喚起語　　危険

危険有害性情報(健康有害性)

遺伝性疾患のおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

強い眼刺激

危険有害性情報(水生毒性)

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

(安全対策)

取扱い後、顔、手をよく洗うこと。

保護眼鏡（ゴーグル型）/防塵マスク/保護手袋の保護具を着用すること。

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

(応急措置)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続けること。眼刺激が続く場合は医師の診断を受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断を受けること。

漏出物を回収すること。

(保管)

施錠して保管すること。

(廃棄)

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物
化学名　　2 種の有機酸を主成分とする尿石防止剤

| 化学名 | CAS 番号 | 濃度 | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 化審法番号 | 安衛法番号 |
| 安息香酸 | 65-85-0 | 50 - 95% | C6H5COOH（構造式は末尾に記載） | 3-1397 | なし（公表化学物質扱いⅠ） |
| ２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール | 10605-21-7 | ＞＝0.3% | － | 5-465 | なし（公表化学物質扱い） |

《その他の有機酸》

CAS No.　　記載せず
含有量　　5～50%
化審法　　登録済み
安衛法　　なし（公表化学物質扱い）

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール の別名》

バイオカット－ＢＭ１００Ｆ

## 4. 応急措置

飲み込んだ場合

口を水ですすぐ。気分が悪いときは医師に連絡する。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し,呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を多量の水で洗う。気分が悪いときは医師に連絡する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続ける。
眼刺激が続くようであれば、医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

火災時の措置

空気呼吸器及びその他の保護具を着用し、風上から消火する。
火災に際し、一酸化炭素等の有毒なガスが発生する。

周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には容器及び周辺に散水して冷却する。

適する消火剤

水、泡、炭酸ガス又は粉末消火剤

## 6. 漏出時の措置

漏出時の措置

飛散したものは、掃き集め、できるだけ空容器に回収する。製品は錠剤なので、形状の崩れていないものは拾い集めてもよい。

回収作業は風上から行う。回収作業の際は、保護具を着用する（保護具については「暴露防止措置」の項を参照のこと）。

回収作業後、形状が崩れて回収できない物は、多量の水で洗い流す。この際、濃厚な洗浄水が河川、下水に流れ込まないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

すべての安全注意を読み、理解するまでは取り扱わない。

保護手袋、ゴーグル、保護衣等適切な保護具を着用する。

取扱い後、顔、手をよく洗う。

保管

直射日光の当たらない換気の良い屋内で、水濡れしない場所に保管する。

酸化剤、さらし粉(次亜塩素酸ナトリウムを含む）等と隣接して保管しない。

施錠して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

《安息香酸 のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 未設定(2010 年度) |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 未設定(2010 年度) |
| 発ガン性　ＩＡＲＣ | 記載なし |

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 設定されていない（2010 年度） |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 設定されていない（2010 年度） |

設備対策

シャワー、洗眼器

保護眼鏡
　　ゴーグル型保護眼鏡
保護手袋
　　ゴム等不浸透素材の手袋
呼吸用保護具
　　呼吸用保護具　有機ガス用防毒マスク（事故時）　空気呼吸器（火災時）
保護衣
　　耐薬品性のもの

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 形状 | 錠剤 |
| 色 | 黄色 |
| 臭い | 特有の臭気あり |

溶解度
　　一部溶解する（水）

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性
　　通常の取扱いでは安定であるが、酸化性物質（さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等）と反応し、腐食性塩素ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

皮膚刺激性
　　安息香酸、含有する有機酸が区分外のため製品を区分外とした。
眼刺激性
　　安息香酸が区分２（HSDB, IPCS)、含有する有機酸が severe のため、製品を区分２とした。
その他の変異原性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした。
急性経口毒性
　　加算式の結果 2564mg/kg の結果より区分外とした。
繁殖毒性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした。

## 12. 環境影響情報

環境影響情報
　　水生生物に毒性がある。

急性魚毒性

《2-メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール（カルベンダジム）のデータ》

LC50（アメリカナマズ）：0.01mg/L（96hr）

その他急性毒性

加算式の結果 1.97mg/L より製品の急性区分を２とした。カルベンダジムが難分解性のため、慢性区分を２とした。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

ゴミ箱または河川、湖、海等の公共水系へ廃棄してはならない。

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

輸送上の注意

荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用･転倒･落下･衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。

輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載･輸送する。

酸化剤、さらし粉等との混載を避ける。

国連分類(クラス)

9（有害性物質）

容器等級

Ⅲ

国連番号-品名

3077（環境有害物質(固体)）

海洋汚染物質

該当

## 15. 適用法令

| | | |
|---|---|---|
| 労働安全衛生法 | ： | 通知対象物質　非該当<br>表示対象物質　非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | ： | 非該当 |
| 消防法 | ： | 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法） | ： | 非該当 |

## 16. その他の情報

記載内容の問合せ先

日本曹達株式会社　千葉研究所　第三研究部　(TEL：0436-23-4987　FAX：0436-23-4934)

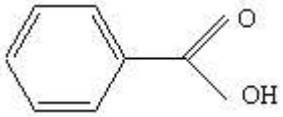
記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中毒１１０番 | 一般市民専用電話 | （大　阪） | 072-727-2499（情報料無料）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-852-9999（情報料無料）<br>365 日 9～21 時対応 |
| | 医療機関専用有料電話 | （大　阪） | 072-726-9923（1 件 2000 円）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-851-9999（1 件 2000 円）<br>365 日 9～21 時対応 |

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。




CAS 番号　：　65-85-0
化学名　：　安息香酸

管理番号 ： N5-6885601(3)

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | テイクワンＢＳ－１００Ｆ |
| 会社 | 日本曹達株式会社 |
| 住所 | 〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１ |
| 担当部門 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| FAX 番号 | 03-3245-6248 |
| 緊急連絡先情報 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| 夜間緊急連絡先 | 千葉工場警備室（夜間・休日） |
| 電話番号 | 0436-23-2019 |
| SDS 作成日 | 2010 年 09 月 17 日 |
| SDS 改訂日 | 2016 年 04 月 01 日(03 版) |

## 2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

| | |
|---|---|
| 爆発物 | 分類対象外 |
| 可燃性又は引火性ガス | 分類対象外 |
| エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性又は酸化性ガス | 分類対象外 |
| 高圧ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 分類対象外 |
| 可燃性固体 | 分類できない |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| 自然発火性固体 | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| 酸化性液体 | 分類対象外 |
| 酸化性固体 | 分類対象外 |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性 | 分類できない |
| 急性毒性：経口 | 区分外 |
| 急性毒性：経皮 | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（ガス） | 分類対象外 |
| 急性毒性：吸入（蒸気） | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（粉塵・ミスト） | 分類できない |

| | |
|---|---|
| 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | 区分 ２ |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 区分 1B |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 区分 １Ｂ |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 水生環境有害性（急性） | 区分 ２ |
| 水生環境有害性（長期間） | 区分 ２ |

【ラベル要素】

絵表示（GHS-JP）

注意喚起語　　危険

危険有害性情報(健康有害性)

遺伝性疾患のおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

強い眼刺激

危険有害性情報(水生毒性)

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

(安全対策)

取扱い後、顔、手をよく洗うこと。

保護眼鏡（ゴーグル型）/防塵マスク/保護手袋の保護具を着用すること。

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

(応急措置)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続けること。眼刺激が続く場合は医師の診断を受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断を受けること。

漏出物を回収すること。

(保管)

施錠して保管すること。

(廃棄)

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物
化学名　　2 種の有機酸を主成分とする尿石防止剤

| 化学名 | CAS 番号 | 濃度 | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 化審法番号 | 安衛法番号 |
| 安息香酸 | 65-85-0 | 50 - 95% | C6H5COOH（構造式は末尾に記載） | 3-1397 | なし（公表化学物質扱いⅠ） |
| ２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール | 10605-21-7 | ＞＝0.3% | － | 5-465 | なし（公表化学物質扱い） |

《その他の有機酸》

CAS No.　　記載せず
含有量　　5～50%
化審法　　登録済み
安衛法　　なし（公表化学物質扱い）

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール の別名》

バイオカット－ＢＭ１００Ｆ

## 4. 応急措置

飲み込んだ場合

口を水ですすぐ。気分が悪いときは医師に連絡する。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し,呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を多量の水で洗う。気分が悪いときは医師に連絡する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続ける。
眼刺激が続くようであれば、医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

火災時の措置

空気呼吸器及びその他の保護具を着用し、風上から消火する。
火災に際し、一酸化炭素等の有毒なガスが発生する。

周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には容器及び周辺に散水して冷却する。

適する消火剤

水、泡、炭酸ガス又は粉末消火剤

## 6. 漏出時の措置

漏出時の措置

飛散したものは、掃き集め、できるだけ空容器に回収する。製品は錠剤なので、形状の崩れていないものは拾い集めてもよい。

回収作業は風上から行う。回収作業の際は、保護具を着用する（保護具については「暴露防止措置」の項を参照のこと）。

回収作業後、形状が崩れて回収できない物は、多量の水で洗い流す。この際、濃厚な洗浄水が河川、下水に流れ込まないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

すべての安全注意を読み、理解するまでは取り扱わない。

保護手袋、ゴーグル、保護衣等適切な保護具を着用する。

取扱い後、顔、手をよく洗う。

保管

直射日光の当たらない換気の良い屋内で、水濡れしない場所に保管する。

酸化剤、さらし粉(次亜塩素酸ナトリウムを含む）等と隣接して保管しない。

施錠して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

《安息香酸 のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 未設定(2010 年度) |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 未設定(2010 年度) |
| 発ガン性　ＩＡＲＣ | 記載なし |

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 設定されていない（2010 年度） |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 設定されていない（2010 年度） |

設備対策

シャワー、洗眼器

保護眼鏡
　　ゴーグル型保護眼鏡
保護手袋
　　ゴム等不浸透素材の手袋
呼吸用保護具
　　呼吸用保護具　有機ガス用防毒マスク（事故時）　空気呼吸器（火災時）
保護衣
　　耐薬品性のもの

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 形状 | 錠剤 |
| 色 | 黄色 |
| 臭い | 特有の臭気あり |

溶解度
　　一部溶解する（水）

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性
　　通常の取扱いでは安定であるが、酸化性物質（さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等）と反応し、腐食性塩素ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

皮膚刺激性
　　安息香酸、含有する有機酸が区分外のため製品を区分外とした。
眼刺激性
　　安息香酸が区分２（HSDB, IPCS)、含有する有機酸が severe のため、製品を区分２とした。
その他の変異原性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした。
急性経口毒性
　　加算式の結果 2564mg/kg の結果より区分外とした。
繁殖毒性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした。

## 12. 環境影響情報

環境影響情報
　　水生生物に毒性がある。

急性魚毒性

《2-メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール（カルベンダジム）のデータ》

LC50（アメリカナマズ）：0.01mg/L（96hr）

その他急性毒性

加算式の結果 1.97mg/L より製品の急性区分を２とした。カルベンダジムが難分解性のため、慢性区分を２とした。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

ゴミ箱または河川、湖、海等の公共水系へ廃棄してはならない。

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

輸送上の注意

荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用･転倒･落下･衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。

輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載･輸送する。

酸化剤、さらし粉等との混載を避ける。

国連分類(クラス)

9（有害性物質）

容器等級

Ⅲ

国連番号-品名

3077（環境有害物質(固体)）

海洋汚染物質

該当

## 15. 適用法令

| | | |
|---|---|---|
| 労働安全衛生法 | ： | 通知対象物質　非該当<br>表示対象物質　非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | ： | 非該当 |
| 消防法 | ： | 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法） | ： | 非該当 |

## 16. その他の情報

記載内容の問合せ先

日本曹達株式会社　千葉研究所　第三研究部　(TEL：0436-23-4987　FAX：0436-23-4934)

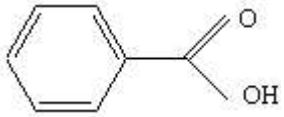
記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中毒１１０番 | 一般市民専用電話 | （大　阪） | 072-727-2499（情報料無料）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-852-9999（情報料無料）<br>365 日 9～21 時対応 |
| | 医療機関専用有料電話 | （大　阪） | 072-726-9923（1 件 2000 円）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-851-9999（1 件 2000 円）<br>365 日 9～21 時対応 |

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。




CAS 番号　：　65-85-0
化学名　：　安息香酸

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | テイクワン　M |
| 会社 | 日本曹達株式会社 |
| 住所 | 〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１ |
| 担当部門 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| FAX 番号 | 03-3245-6248 |
| 緊急連絡先情報 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| SDS 作成日 | 1997 年 02 月 13 日 |
| SDS 改訂日 | 2016 年 06 月 01 日(05 版) |

## 2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

| | |
|---|---|
| 爆発物 | 分類対象外 |
| 可燃性又は引火性ガス | 分類対象外 |
| エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性又は酸化性ガス | 分類対象外 |
| 高圧ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 区分外 |
| 可燃性固体 | 分類対象外 |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 自然発火性液体 | 区分外 |
| 自然発火性固体 | 分類対象外 |
| 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| 酸化性液体 | 分類できない |
| 酸化性固体 | 分類対象外 |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性 | 分類できない |
| 急性毒性：経口 | 区分外 |
| 急性毒性：経皮 | 区分外 |
| 急性毒性：吸入（ガス） | 分類対象外 |
| 急性毒性：吸入（蒸気） | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（粉塵・ミスト） | 分類できない |
| 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 | 区分　1 |

| | |
|---|---|
| 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | 区分 1 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 区分 2(呼吸器系) |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 区分 2(呼吸器系、歯) |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 水生環境有害性（急性） | 区分 2 |
| 水生環境有害性（長期間） | 分類できない |

【ラベル要素】

絵表示（GHS-JP）

注意喚起語　　危険

危険有害性情報(健康有害性)

重篤な皮膚の薬傷･眼の損傷

呼吸器系の障害のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器系、歯の障害のおそれ

危険有害性情報(水生毒性)

水生生物に毒性

(安全対策)

1)予防策については、「７．取扱いおよび保管上の注意」、「８．ばく露防止措置及び保護措置」を参照。

2)取り扱い後、手等をよく洗うこと。

3)ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

4)保護手袋／保護眼鏡又は保護面／保護マスク／保護衣を着用すること。

5)この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

6)環境への放出を避けること。

(応急措置)

1)応急処置については、「４．応急措置」、「５．火災時の処置」を参照。

2)飲み込んだ場合：口をすすぐこと。直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

3)吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

4)皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服を脱ぐこと/取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

5)汚染した衣類を再使用する場合には洗濯すること。

6)眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

7)ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
8)気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。

(保管)

1)保管については、「７．取扱い及び保管上の注意」を参照。
2)施錠して保管すること。

(廃棄)

1)廃棄については、「１３．廃棄上の注意」参照。
2)内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物
化学名　　塩化水素及びリン酸を含む尿石除去剤

| 化学名 | CAS 番号 | 濃度 | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 化審法番号 | 安衛法番号 |
| 塩化水素 | 7647-01-0 | ＜ 10% | HCl | 1-215 | なし(公表化学物質扱い) |
| 燐酸 | 7664-38-2 | ＜ 5% | H3PO4 | 1-422 | なし（公表化学物質扱い) |

《水、界面活性剤、着色剤、腐食防止剤等》

CAS No.　　記載せず
含有量　　85%以上

《燐酸 の別名》

無水燐酸
正燐酸

## 4. 応急措置

飲み込んだ場合

口をすすぐ。直ちに医師に連絡する。
無理に吐かせてはならない。

吸入した場合

被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
直ちに医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類を脱ぐ/取り除く。多量の水と石鹸で洗う。直ちに医師に連絡する。
汚染した衣類を再使用する場合には洗濯する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は、外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師に連絡する。

## 5. 火災時の措置

火災時の措置

不燃性であるが、容器は燃える。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器及び周辺に散水して冷却する。

適する消火剤

周辺火災に適した消火剤

## 6. 漏出時の措置

漏出時の措置

1)人を退避させ、飛散･漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。

2)作業の際は、保護具を着用する。保護具については｢暴露防止措置｣を参照の事。

3)少量の場合は、漏出した液は土砂等に吸収させて密閉可能な容器に回収する。

4)多量に漏出した場合は、盛土等で囲って流れを止め吸収させるか、安全な場所に導き、遠くから徐々に注水しある程度希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和する。これを多量の水を用い洗い流す。洗い流す場合、濃厚な廃液が下水溝、河川、田畑等へ流入しないよう注意する

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

1)必ず換気設備のある場所で取扱い、できるだけ風上で作業をする。

2)容器の開栓はできるだけ短時間とし、できるだけ蒸気の発生、液漏れ、あふれ等をさせないように取り扱う。

3)吸入したり、眼や皮膚に接触したりしないよう防毒マスク、ゴーグル型保護眼鏡、ゴム手袋及びその他の保護具を必ず着用する。

4)取り扱い場所の近くに洗眼器や身体を洗うための設備を設置する。

5)酸性なので、塩素系の洗浄剤や漂白剤と混合・使用してはならない。

6)この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。

保管

1)直射日光の当たらない換気の良い場所に、施錠して保管する。

2)酸性なので、アルカリ性の物質と同じ場所で貯蔵又は保管してはならない。

3)可燃性物質、還元剤、強酸化剤、金属等から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

《塩化水素 のデータ》

厚生労働省（管理濃度）　　設定されていない

| | |
|---|---|
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 7.5mg/m3（2009 年度） |
| ＡＣＧＩＨ（ＣＥＩＬ） | 2ppm（2008 年） |

《燐酸 のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 1mg/m3(2010 年度) |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 1mg/m3(2011 年) |
| ＡＣＧＩＨ（ＳＴＥＬ） | 3mg/m3(2011 年) |

設備対策

発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。全体排気装置も設置することが望ましい。

保護眼鏡

ゴーグル型

保護手袋

ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋

呼吸用保護具

酸性ガス用防毒マスク

保護衣

ゴム衣、ゴム長靴、ゴム前掛け（ゴム衣がない場合）

---

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 形状 | 液体 |
| 色 | 青色 |
| 臭い | メントール臭 |

密度

真密度：1.05（20℃）

動粘度

6.38cst（20℃）

pH

1.49（2v/v%水溶液 20℃）

溶解度

任意の割合で溶ける（水）

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性

1)強酸性物質なのでｱﾙｶﾘ性物質と激しく反応し、発熱する。

2)ｱﾙﾐﾆｳﾑ等の金属と反応し、水素を発生する。水素は、空気と混ざり合うと爆発するので注意する。

3)成分中のﾘﾝ酸は、金属、ｱﾙｺｰﾙ、ｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ｼｱﾝ化合物、ｹﾄﾝ、ﾌｪﾉｰﾙ、ｴｽﾃﾙ、硫化物、ﾊﾛｹﾞﾝ

化有機物と接触すると分解し、有害なﾘﾝ酸化物のﾌｭｰﾑを発生する。
4)通常の取扱い条件では、安定である。

## 11. 有害性情報

有害性情報

1)急性毒性(経口)（経皮)：加算式から、いずれも区分外とした。

2)皮膚腐食性：pH 値及び、区分 1 の塩化水素、燐酸を合計 5%以上含有するため区分 1 とした。

3)眼腐食性：pH 値及び、区分 1 の塩化水素、燐酸を合計 3%以上含有するため、区分 1 とした。

4)特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1(呼吸器系)の塩化水素を 1%以上 10%未満含有するため区分 2 とした。5)　特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1(呼吸器系、歯)の塩化水素を 1%以上 10%未満含有するため区分 2 とした。

6)眼や皮膚に触れると強い刺激と痛みがあり、腐食性を示す。失明することがある。吸い込むと呼吸器粘膜を侵す。多量に吸入すると肺水腫を起こすことがある。その症状は遅れて現れることがあるので、医学的な経過観察が必要である。

皮膚刺激性

《塩化水素のデータ》

腐食性

《燐酸のデータ》

腐食性　(ｳｻｷﾞ)　〔＊01〕

眼刺激性

《塩化水素のデータ》

腐食性

《燐酸のデータ》

腐食性　(ｳｻｷﾞ)　〔＊01〕

感作性

《塩化水素のデータ》

皮膚感作性なし（ﾓﾙﾓｯﾄ、ﾏｳｽ）　〔＊02〕

急性経口毒性

《塩化水素のデータ》

LD50（ﾗｯﾄ）　：238-277mg/kg〔＊03〕

《燐酸のデータ》

LD50（ﾗｯﾄ）　：2000mg/kg〔＊01〕

急性経皮毒性

《塩化水素のデータ》

LD50（ｳｻｷﾞ）　：>5010mg/kg〔＊03〕

《燐酸のデータ》

LD50（ﾗｯﾄ）　：2975mg/kg〔＊01〕

急性吸入毒性

《塩化水素のデータ》

LC50（ﾗｯﾄ）　：0.42mg/L（4hr）　〔＊03〕

《燐酸のデータ》

LC50（ﾗｯﾄ）：0.9615mg/L（4hr）〔＊01〕

## 12. 環境影響情報

環境影響情報

1)水生毒性(急性)：加算式から区分２とした。

2)完全に水に溶け、酸性のため水生生物に有害である。植物の成長に有害である。

急性魚毒性

《塩化水素のデータ》

LC50（オオミジンコ）：0.492mg/L（48h）〔＊04〕

## 13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

1)攪拌しながら石灰乳、か性ソーダ等の薄い水溶液で中和した後、多量の水で希釈して流す。放流水のｐＨは海域以外は 5.8～8.6、海域は 5.0～9.0 のこと。

2)処理を外部に委託する場合は、産業廃棄物処理業者に委託する。

## 14. 輸送上の注意

輸送上の注意

1)荷役作業は慎重丁寧にし、容器に打撃や衝撃を与えたり、手カギやフォークリフトの爪で突き刺したりしないように行う。

2)輸送中に容器が転倒・転落しないように積載するとともに、休憩時等の盗難・紛失に注意する。

国連分類(クラス)

8（腐食性物質）

容器等級

Ⅱ

国連番号-品名

1760（その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)）

海洋汚染物質

非該当

## 15. 適用法令

労働安全衛生法　：　特定化学物質第３類物質（特定化学物質障害予防規則第２条第１項第６号）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）
りん酸　（政令番号 ： 618）

塩化水素　（政令番号 ： 98）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法５７条１、施行令第１８条）
りん酸　（政令番号 ： 618）
塩化水素　（政令番号 ： 98）

毒物及び劇物取締法　：　非該当
水質汚濁防止法　：　指定物質（法第２条第４項、施行令第３条の３）
（塩化水素）
船舶安全法　：　腐食性物質（危規則第２，３条危険物告示別表第１）
化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法）　：　非該当

## 16. その他の情報

記載内容の問合せ先

化学品事業部環境化学品部環境化学品課　（ＴＥＬ：03-3245-6148　ＦＡＸ：03-3245-6248）

引用文献

化学防災指針集成Ｉ.物質編,p.1-349(1996)
国際化学物質安全性カード　日本語版　塩化水素　ICSC 番号：0163
国際化学物質安全性カード　日本語版　りん酸　ICSC 番号:1008
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 1985-1986,pp.2717,3379(1987)
The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data,2nd.ed.,pp.1896,2822(1988)
Chemical Safety Data Sheet,SD-39(1970)
Dangerous Properties of Industrial Materials,7th ed.,pp.1900,2770(1989)
〔＊01〕SIDS(2011)
〔＊02〕SIDS(2009)
〔＊03〕SIDS(2002)
〔＊04〕SIDS(2005)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

| | | | |
|---|---|---|---|
| 公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る） | | | |
| 中毒１１０番 | 一般市民専用電話 | （大　阪） | 072-727-2499（情報料無料）365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-852-9999（情報料無料）365 日 9～21 時対応 |
| | 医療機関専用有料電話 | （大　阪） | 072-726-9923（1 件 2000 円）365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-851-9999（1 件 2000 円） |

365 日 9～21 時対応
医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| SDS 品名 | テイクワン　L |
| 会社 | 日本曹達株式会社 |
| 住所 | 〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１ |
| 担当部門 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| FAX 番号 | 03-3245-6248 |
| 緊急連絡先情報 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| SDS 作成日 | 1995 年 06 月 01 日 |
| SDS 改訂日 | 2020 年 08 月 19 日(08 版) |

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|---|---|---|
| 物理的危険性 | ： | 爆発物 分類対象外 |
| | ： | エアゾール 分類対象外 |
| | ： | 引火性液体 区分外 |
| | ： | 自己反応性化学品 分類対象外 |
| | ： | 自然発火性液体 区分外 |
| | ： | 自己発熱性化学品 分類できない |
| | ： | 水反応可燃性化学品 分類対象外 |
| | ： | 酸化性液体 分類できない |
| | ： | 有機過酸化物 分類対象外 |
| | ： | 金属腐食性物質 分類できない |
| 健康有害性 | ： | 急性毒性(経口) 区分 4 |
| | ： | 急性毒性(経皮) 区分外 |
| | ： | 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 |
| | ： | 急性毒性(吸入：蒸気) 分類できない |
| | ： | 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 区分 4 |
| | ： | 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 区分 1A |
| | ： | 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 区分 1B |
| | ： | 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 区分 1C |
| | ： | 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分 1 |
| | ： | 呼吸器感作性 分類できない |
| | ： | 皮膚感作性 区分外 |
| | ： | 生殖細胞変異原性 分類できない |
| | ： | 発がん性 分類できない |
| | ： | 生殖毒性 分類できない |

| | | |
|---|---|---|
| | ： | 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 1 |
| | ： | 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分 1 |
| | ： | 吸引性呼吸器有害性 区分 1 |
| 環境有害性 | ： | 水生環境有害性(急性) 区分 2 |
| | ： | 水生環境有害性(長期間) 区分外 |
| 絵表示 (GHS JP) | ： | |
| 注意喚起語 (GHS JP) | ： | 危険 |
| 危険有害性情報(GHS JP) | ： | 飲み込むと有害<br>飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ<br>重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷<br>吸入すると有害<br>臓器の障害 (呼吸器系)<br>長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (歯、呼吸器系)<br>水生生物に毒性 |
| 注意書き | | |
| ［安全対策］ | ： | ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。<br>取扱い後はよく手 を洗うこと。<br>この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。<br>屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。<br>環境への放出を避けること。<br>適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。 |
| ［応急措置］ | ： | 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。<br>飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。<br>飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。<br>吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。<br>眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。<br>ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。<br>直ちに医師に連絡すること。<br>気分が悪いときは医師に連絡すること。<br>特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。<br>口をすすぐこと。<br>飲み込んだ場合、吐かせないこと。<br>汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 |
| ［保管］ | ： | 施錠して保管すること。 |
| ［廃棄］ | ： | 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 |

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物
化学名　　塩化水素を含む尿石除去剤

| 化学名 | CAS 番号 | 濃度 | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 化審法番号 | 安衛法番号 |
| 塩化水素 | 7647-01-0 | 22% | HCl | 1-215 | なし(公表化学物質扱い) |

《水、着色剤、腐食防止剤》
CAS No.　　記載せず
含有量　　78%

## 4. 応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
：　広範囲にわたる薬傷の場合は、安静にさせ、発現する症状に応じて吸入した場合と同様な処置を行う。

眼に入った場合　：　水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　水で口の中をよく洗う。
直ちに医師に診断／手当てを受けること。
無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

適した消火剤　：　霧状の水
粉末消火剤
泡消火剤
炭酸ガス消火剤
：　不燃性であるが、容器は燃える。

| | | |
|---|---|---|
| 使ってはならない消火剤 | ： | 情報なし。 |
| 消火を行う者の保護 | ： | 風上に立ち蒸気を避ける。 |
| 消火時の保護具 | ： | 燃焼又は加熱により有毒なガス（塩化水素等）が生成するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用のこと。 |
| 特有の消火方法 | ： | 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。<br>消火作業は風上から行う。<br>周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。<br>移動できない場合、容器に放水し、冷却する。 |

## 6. 漏出時の措置

| | | |
|---|---|---|
| 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 | ： | 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。<br>十分な換気を確保する。 |
| | ： | 風下の人を退避させ、飛散･漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行う。 |
| 環境に対する注意事項 | ： | 排水溝または水路への侵入を防ぐ。 |
| 封じ込め及び浄化方法及び機材 | ： | 少量の場合は、漏出した液は土砂に吸収させて密閉可能な容器に回収する。<br>多量に漏出した場合は、盛土等で囲って流れを止め吸収させるか、安全な場所に導き遠くから徐々に注水しある程度希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和する。これを多量の水を用い洗い流す。洗い流す場合、濃厚な廃液が下水溝、河川、田畑等へ流入しないよう注意する |

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | | |
|---|---|---|
| 技術的対策 | ： | 『８．ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 |
| 接触回避 | ： | 「10. 安定性及び反応性」を参照のこと。 |
| 安全取扱注意事項 | ： | 作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。<br>皮膚、目、あるいは衣服との接触を避ける。<br>蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと。<br>この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。<br>取扱い後はよく手、顔 を洗うこと。 |
| | ： | 必ず換気設備のある場所で取り扱い、できるだけ風上で作業をする。<br>容器の開栓はできるだけ短時間とし、できるだけ蒸気の発生、液洩れ、あふれ等をさせないように取り扱う。<br>酸性なので、塩素系の洗浄剤や漂白剤と混合・使用してはならない。 |

保管

| | |
|---|---|
| 安全な保管条件 | 直射日光の当たらない換気の良い場所に保管する。<br>酸性なので、アルカリ性の化学物質と同じ場所で保管しない。<br>可燃性物質、還元剤、強酸化剤、金属等から離して保管する。 |

## 8. ばく露防止及び保護措置

《塩化水素 のデータ》

厚生労働省

| | | |
|---|---|---|
| 管理濃度 | ： | 設定されていない |

日本産業衛生学会

| | | |
|---|---|---|
| 許容濃度(産衛学会) | ： | 【最許容濃度】2ppm(3.0mg/m3) |
| 年度 | ： | 2017 |

ACGIH

| | | |
|---|---|---|
| 許容濃度(ACGIH) | ： | TWA -,STEL C 2 ppm |
| 年度 | ： | 2017 |

| | | |
|---|---|---|
| 設備対策 | ： | 屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。<br>取扱い場所の近くに、シャワー･洗眼器を設置する。 |
| 呼吸用保護具 | ： | 酸性ガス用防毒マスク。 |
| | ： | （漏洩時は空気呼吸器） |
| 手の保護具 | ： | ゴム又はネオプレンゴム製 |
| 眼の保護具 | ： | ゴーグル。 |
| | ： | （防毒マスクの場合は顔面シールドの着用を推奨する） |
| 皮膚及び身体の保護具 | ： | ゴム衣、ゴム長靴、ゴム前掛け（ゴム衣がない場合） |

## 9. 物理的及び化学的性質

| | | |
|---|---|---|
| 物理的状態 | ： | 液体 |
| 形状 | ： | 液体 |
| 色 | ： | 赤色透明 |
| 臭い | ： | 刺激臭 |
| 外観（その他） | ： | 発煙性あり |
| pH | ： | 1.31　（１％液　20℃） |
| 融点 | ： | データなし |
| 比重(密度) | ： | 1.1　(20℃) |
| 溶解度 | ： | 任意の割合で溶解（水） |
| 粘性 | ： | 1.23 cSt　(20℃) |

## 10. 安定性及び反応性

| | | |
|---|---|---|
| 反応性 | | 強酸性物質なのでアルカリ性物質と激しく反応し、発熱する。<br>金属と反応し、可燃性の水素を発生する。水素は空気と混ざり合うと爆発するので注意する。 |
| 化学的安定性 | ： | 通常の取扱い条件下では安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | ： | 危険な重合反応は、起こらない。 |
| 避けるべき条件 | ： | 直射日光。高温。 |
| 混触禁止物質 | | アルカリ性の化学物質<br>可燃性物質、還元剤、強酸化剤、金属等 |
| 危険有害な分解生成物 | | 塩素、水素<br>加熱により塩化水素が発生する。 |

## 11. 有害性情報

| | | |
|---|---|---|
| 急性毒性（経口） | ： | 各成分の LD50 値の加算式から、区分 4 とした。 |
| 急性毒性（経皮） | ： | 各成分の LD50 値の加算式から、区分外とした。 |
| 急性毒性（吸入:ミスト） | ： | 各成分の LC50 値の加算式から、区分 4 とした。 |
| LD50 経口 ラット | ： | 塩酸のデータ：238～277mg/kg〔＊01〕 |
| LD50 経皮 ウサギ | ： | 塩酸のデータ：>5010mg/kg〔＊01〕 |
| LC50 吸入 ラット（粉じん / ミスト - mg/l/4h） | ： | 塩酸のデータ：0.42mg/L（4hr）〔＊01〕 |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | ： | 塩酸のデータ：皮膚刺激性試験で、1-4 時間暴露により濃度次第で腐食性が認められた。（ｳｻｷﾞ）〔＊01〕<br>区分 1 の塩化水素を 5%以上含有するため区分 1 とした。 |
| 眼に対する重篤な損傷又は刺激性 | ： | 塩酸のデータ：ウサギを含めた複数の動物試験の結果、眼に対する重度の刺激性又は損傷性、腐食性を示した。（ｳｻｷﾞ）〔＊01〕　区分 1 の塩化水素を 3%以上含有するため、区分 1 とした。 |
| 皮膚感作性 | ： | データが不十分で分類できない。 |
| 呼吸器感作性 | ： | データが不十分で分類できない。 |
| 生殖細胞変異原性 | ： | データが不十分で分類できない。 |
| 発がん性 | ： | データが不十分で分類できない。 |
| 生殖毒性 | ： | データが不十分で分類できない。 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | ： | 区分 1(呼吸器系)の塩化水素を 10%以上含有するため区分 1(呼吸器系)とした。 |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | ： | 区分 1(歯、呼吸器系)の塩化水素を 10%以上含有するため区分 1(歯、呼吸器系)とした。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | ： | 区分 1 の塩酸を 10%以上含有すること及び動粘性率から、区分 1 とした。 |

## 12. 環境影響情報

| | | |
|---|---|---|
| 水生環境有害性(急性) | ： | 本製品に関するデータはないが、塩酸に関するデータを次に示す。区分 1 の塩酸を 2.5%以上含有するため、区分 2 とした。完全に水に溶け、酸性のため、水生生物に毒性がある。植物の成長に有害である。 |
| 水生環境有害性(長期間) | ： | 区分外。 |
| EC50 ミジンコ | ： | 塩酸のデータ：0.492m g / L （ｵｵﾐｼﾞﾝｺ、48hr） 〔＊02〕 |
| オゾン層への有害性 | ： | 下記の理由から、分類できないとした。 |
| オゾン層への影響 | ： | モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。 |

## 13. 廃棄上の注意

| | | |
|---|---|---|
| 残余廃棄物 | ： | 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。<br>処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。<br>攪拌しながら石灰乳、苛性ソーダ等の薄い水溶液で中和した後、多量の水で希釈して流す。 |
| 汚染容器及び包装 | ： | 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。 |

## 14. 輸送上の注意

| | | |
|---|---|---|
| 国際規制 | | |
| 海上規制情報 | ： | IMO の規定に従う。 |
| 航空規制情報 | ： | ICAO/IATA の規定に従う。 |
| 国連番号 | ： | 3264 |
| 正式輸送品名 | ： | その他の腐食性物質（無機物）（液体）（酸性のもの） |
| 国連分類 | ： | 8 |
| 容器等級 | ： | II |
| 海洋汚染物質 | ： | 非該当 |
| 国内規制 | | |
| 海上規制情報 | ： | 船舶安全法の規定に従う。 |
| 航空規制情報 | ： | 航空法の規定に従う。 |
| 特別な輸送上の注意 | ： | 荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用･転倒･落下･衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。<br>輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載･輸送する。 |
| その他の情報 | ： | 補足情報なし。 |

## 15. 適用法令

| | | |
|---|---|---|
| 労働安全衛生法 | ： | 特定化学物質第３類物質（特定化学物質障害予防規則第２条第１項第６号）<br>名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２第１号、第２号別表第９）<br>塩化水素　（政令番号 ： 98）<br>名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条第１項、施行令第１８条第１号、第２号別表第９）<br>塩化水素　（政令番号 ： 98） |
| 毒物及び劇物取締法 | ： | 劇物（指定令第２条）<br>塩化水素を含有する製剤<br>塩化水素と硫酸とを含有する製剤 |
| 水質汚濁防止法 | ： | 指定物質（法第２条第４項、施行令第３条の３）<br>（塩化水素） |
| 消防法 | ： | 非該当 |
| 道路法 | ： | 車両の通行の制限（施行令第１９条の１３、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第１２号・別表第２） |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) | ： | 非該当 |

## 16. その他の情報

引用文献 ：

1) 化学防災指針集成Ｉ　物質編 p. 1-349 (1996)
2) 国際化学物質安全性カード 日本語版 ICSC 番号:0163
3) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 1985～1986, p.2717(1987)
4) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data, 2nd. ed., p.1896(1988)
5) Dangerous Properties of Industrial Materials, 7th ed. , p.1900(1989)
〔＊01〕SIDS(2002)
〔＊02〕SIDS(2005)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
中毒１１０番　一般市民専用電話　（大　阪）　072-727-2499（情報料無料）
365 日 24 時間対応
（つくば）　029-852-9999（情報料無料）

管理番号 ： N0-6783101(2)

| | | |
|---|---|---|
| | | 365 日 9～21 時対応 |
| 医療機関専用有料電話 | （大　阪） | 072-726-9923（1 件 2000 円） |
| | | 365 日 24 時間対応 |
| | （つくば） | 029-851-9999（1 件 2000 円） |
| | | 365 日 9～21 時対応 |

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | テイクワン　Ｃ－ＷＦ |
| 会社 | 日本曹達株式会社 |
| 住所 | 〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１ |
| 担当部門 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| FAX 番号 | 03-3245-6248 |
| 緊急連絡先情報 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| 夜間緊急連絡先 | 千葉工場警備室（夜間・休日） |
| 電話番号 | 0436-23-2019 |
| SDS 作成日 | 2010 年 09 月 17 日 |
| SDS 改訂日 | 2016 年 04 月 01 日(03 版) |

## 2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

| | |
|---|---|
| 爆発物 | 分類対象外 |
| 可燃性又は引火性ガス | 分類対象外 |
| エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性又は酸化性ガス | 分類対象外 |
| 高圧ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 分類対象外 |
| 可燃性固体 | 分類できない |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| 自然発火性固体 | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| 酸化性液体 | 分類対象外 |
| 酸化性固体 | 分類対象外 |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性 | 分類できない |
| 急性毒性：経口 | 区分外 |
| 急性毒性：経皮 | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（ガス） | 分類対象外 |
| 急性毒性：吸入（蒸気） | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（粉塵・ミスト） | 分類できない |

| | |
|---|---|
| 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | 区分 2 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 区分 1B |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 区分 １Ｂ |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 水生環境有害性（急性） | 区分 2 |
| 水生環境有害性（長期間） | 区分 2 |

【ラベル要素】

絵表示（GHS-JP）

注意喚起語　　危険

危険有害性情報(健康有害性)

遺伝性疾患のおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

強い眼刺激

危険有害性情報(水生毒性)

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

(安全対策)

取扱い後、顔、手をよく洗うこと。

保護眼鏡（ゴーグル型）/防塵マスク/保護手袋の保護具を着用すること。

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

(応急措置)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続けること。眼刺激が続く場合は医師の診断を受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断を受けること。

漏出物を回収すること。

(保管)

施錠して保管すること。

(廃棄)

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物
化学名　　2 種の有機酸を主成分とする尿石防止剤

| 化学名 | CAS 番号 | 濃度 | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 化審法番号 | 安衛法番号 |
| 安息香酸 | 65-85-0 | 50 - 95% | C6H5COOH（構造式は末尾に記載） | 3-1397 | なし（公表化学物質扱いⅠ） |
| ２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール | 10605-21-7 | ＞＝0.3% | － | 5-465 | なし（公表化学物質扱い） |

《その他の有機酸》

CAS No.　　記載せず
含有量　　5～50%
化審法　　登録済み
安衛法　　なし（公表化学物質扱い）

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール の別名》

バイオカット－ＢＭ１００Ｆ

## 4. 応急措置

飲み込んだ場合

口を水ですすぐ。気分が悪いときは医師に連絡する。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し,呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を多量の水で洗う。気分が悪いときは医師に連絡する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続ける。眼刺激が続く場合は医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

火災時の措置

空気呼吸器及びその他の保護具を着用し、風上から消火する。
火災に際し、一酸化炭素等の有毒なガスが発生する。
周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には容器及び周辺に散水して冷却する。

適する消火剤

水、泡、炭酸ガス又は粉末消火剤

## 6. 漏出時の措置

漏出時の措置

飛散したものは、掃き集め、できるだけ空容器に回収する。製品は錠剤なので、形状の崩れていないものは拾い集めてもよい。

回収作業は風上から行う。回収作業の際は、保護具を着用する（保護具については「暴露防止措置」の項を参照のこと）。

回収作業後、形状が崩れて回収できない物は、多量の水で洗い流す。この際、濃厚な洗浄水が河川、下水に流れ込まないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

すべての安全注意を読み、理解するまでは取り扱わない。

保護手袋、ゴーグル、保護衣等適切な保護具を着用する。

取扱い後、顔、手をよく洗う。

保管

直射日光の当たらない換気の良い屋内で、水濡れしない場所に保管する。

酸化剤、さらし粉(次亜塩素酸ナトリウムを含む）等と隣接して保管しない。

施錠して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

《安息香酸 のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 未設定(2010 年度) |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 未設定(2010 年度) |
| 発ガン性　ＩＡＲＣ | 記載なし |

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 設定されていない（2010 年度） |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 設定されていない（2010 年度） |

設備対策

シャワー、洗眼器

保護眼鏡

ゴーグル型保護眼鏡

保護手袋
　　ゴム等不浸透素材の手袋
呼吸用保護具
　　呼吸用保護具　有機ガス用防毒マスク（事故時）　空気呼吸器（火災時）
保護衣
　　耐薬品性のもの

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 形状 | 錠剤 |
| 色 | 青色 |
| 臭い | 特有の臭気あり |

溶解度
　　一部溶解する（水）

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性
　　通常の取扱いでは安定であるが、酸化性物質（さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等）と反応し、腐食性塩素ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

皮膚刺激性
　　安息香酸、含有する有機酸が区分外のため製品を区分外とした。
眼刺激性
　　安息香酸が区分２（HSDB, IPCS)、含有する有機酸が severe のため、製品を区分２とした。
その他の変異原性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした
急性経口毒性
　　加算式の結果 2564mg/kg の結果より区分外とした。
繁殖毒性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした。

## 12. 環境影響情報

環境影響情報
　　水生生物に毒性がある。
急性魚毒性
《2-メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール（カルベンダジム）のデータ》

LC50（アメリカナマズ）：0.01mg/L（96hr）

その他急性毒性

加算式の結果 1.97mg/L より製品の急性区分を２とした。カルベンダジムが難分解性のため、慢性区分を２とした。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

ゴミ箱または河川、湖、海等の公共水系へ廃棄してはならない。

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

輸送上の注意

荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用･転倒･落下･衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。

輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載･輸送する。

酸化剤、さらし粉等との混載を避ける。

国連分類(クラス)

9（有害性物質）

容器等級

Ⅲ

国連番号-品名

3077（環境有害物質(固体)）

海洋汚染物質

該当

## 15. 適用法令

| | | |
|---|---|---|
| 労働安全衛生法 | ： | 通知対象物質　非該当<br>表示対象物質　非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | ： | 非該当 |
| 消防法 | ： | 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法） | ： | 非該当 |

## 16. その他の情報

記載内容の問合せ先

日本曹達株式会社　千葉研究所　第三研究部　(TEL：0436-23-4987　FAX：0436-23-4934)

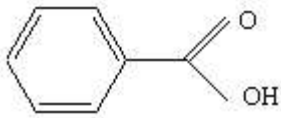
記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、
含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすもので
はありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱い
の場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中毒１１０番 | 一般市民専用電話 | （大　阪） | 072-727-2499（情報料無料）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-852-9999（情報料無料）<br>365 日 9～21 時対応 |
| | 医療機関専用有料電話 | （大　阪） | 072-726-9923（1 件 2000 円）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-851-9999（1 件 2000 円）<br>365 日 9～21 時対応 |

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。




CAS 番号　　：　65-85-0
化学名　　：　安息香酸

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | テイクワン　Ｃ－ＢＦ |
| 会社 | 日本曹達株式会社 |
| 住所 | 〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１ |
| 担当部門 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| FAX 番号 | 03-3245-6248 |
| 緊急連絡先情報 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| 夜間緊急連絡先 | 千葉工場警備室（夜間・休日） |
| 電話番号 | 0436-23-2019 |
| SDS 作成日 | 2010 年 09 月 17 日 |
| SDS 改訂日 | 2016 年 04 月 01 日(03 版) |

## 2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

| | |
|---|---|
| 爆発物 | 分類対象外 |
| 可燃性又は引火性ガス | 分類対象外 |
| エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性又は酸化性ガス | 分類対象外 |
| 高圧ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 分類対象外 |
| 可燃性固体 | 分類できない |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| 自然発火性固体 | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| 酸化性液体 | 分類対象外 |
| 酸化性固体 | 分類対象外 |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性 | 分類できない |
| 急性毒性：経口 | 区分外 |
| 急性毒性：経皮 | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（ガス） | 分類対象外 |
| 急性毒性：吸入（蒸気） | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（粉塵・ミスト） | 分類できない |

| | |
|---|---|
| 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | 区分 2 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 区分 1B |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 区分 １Ｂ |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 水生環境有害性（急性） | 区分 2 |
| 水生環境有害性（長期間） | 区分 2 |

【ラベル要素】

絵表示（GHS-JP）

注意喚起語　危険

危険有害性情報(健康有害性)

遺伝性疾患のおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

強い眼刺激

危険有害性情報(水生毒性)

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

(安全対策)

取扱い後、顔、手をよく洗うこと。

保護眼鏡（ゴーグル型）/防塵マスク/保護手袋の保護具を着用すること。

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

(応急措置)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続けること。眼刺激が続く場合は医師の診断を受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断を受けること。

漏出物を回収すること。

(保管)

施錠して保管すること。

(廃棄)

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物
化学名　　2 種の有機酸を主成分とする尿石防止剤

| 化学名 | CAS 番号 | 濃度 | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 化審法番号 | 安衛法番号 |
| 安息香酸 | 65-85-0 | 50 - 95% | C6H5COOH（構造式は末尾に記載） | 3-1397 | なし（公表化学物質扱いⅠ） |
| ２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール | 10605-21-7 | ＞＝0.3% | － | 5-465 | なし（公表化学物質扱い） |

《その他の有機酸》

CAS No.　　記載せず
含有量　　5～50%
化審法　　登録済み
安衛法　　なし（公表化学物質扱い）

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール の別名》

バイオカット－ＢＭ１００Ｆ

## 4. 応急措置

飲み込んだ場合

口を水ですすぐ。気分が悪いときは医師に連絡する。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し,呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を多量の水で洗う。気分が悪いときは医師に連絡する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続ける。眼刺激が続く場合は医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

火災時の措置

空気呼吸器及びその他の保護具を着用し、風上から消火する。
火災に際し、一酸化炭素等の有毒なガスが発生する。
周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には容器及び周辺に散水して冷却する。

適する消火剤

水、泡、炭酸ガス又は粉末消火剤

## 6. 漏出時の措置

漏出時の措置

飛散したものは、掃き集め、できるだけ空容器に回収する。製品は錠剤なので、形状の崩れていないものは拾い集めてもよい。

回収作業は風上から行う。回収作業の際は、保護具を着用する（保護具については「暴露防止措置」の項を参照のこと）。

回収作業後、形状が崩れて回収できない物は、多量の水で洗い流す。この際、濃厚な洗浄水が河川、下水に流れ込まないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

すべての安全注意を読み、理解するまでは取り扱わない。

保護手袋、ゴーグル、保護衣等適切な保護具を着用する。

取扱い後、顔、手をよく洗う。

保管

直射日光の当たらない換気の良い屋内で、水濡れしない場所に保管する。

酸化剤、さらし粉(次亜塩素酸ナトリウムを含む）等と隣接して保管しない。

施錠して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

《安息香酸 のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 未設定(2010 年度) |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 未設定(2010 年度) |
| 発ガン性　ＩＡＲＣ | 記載なし |

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 設定されていない（2010 年度） |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 設定されていない（2010 年度） |

設備対策

シャワー、洗眼器

保護眼鏡

ゴーグル型保護眼鏡

保護手袋
　　ゴム等不浸透素材の手袋
呼吸用保護具
　　呼吸用保護具　有機ガス用防毒マスク（事故時）　空気呼吸器（火災時）
保護衣
　　耐薬品性のもの

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 形状 | 錠剤 |
| 色 | 青色 |
| 臭い | 特有の臭気あり |

溶解度
　　一部溶解する（水）

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性
　　通常の取扱いでは安定であるが、酸化性物質（さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等）と反応し、腐食性塩素ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

皮膚刺激性
　　安息香酸、含有する有機酸が区分外のため製品を区分外とした。
眼刺激性
　　安息香酸が区分２（HSDB, IPCS)、含有する有機酸が severe のため、製品を区分２とした。
その他の変異原性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした
急性経口毒性
　　加算式の結果 2564mg/kg の結果より区分外とした。
繁殖毒性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした。

## 12. 環境影響情報

環境影響情報
　　水生生物に毒性がある。
急性魚毒性
《2-メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール（カルベンダジム）のデータ》

LC50（アメリカナマズ）：0.01mg/L（96hr）

その他急性毒性

加算式の結果 1.97mg/L より製品の急性区分を２とした。カルベンダジムが難分解性のため、慢性区分を２とした。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

ゴミ箱または河川、湖、海等の公共水系へ廃棄してはならない。

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

輸送上の注意

荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用･転倒･落下･衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。

輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載･輸送する。

酸化剤、さらし粉等との混載を避ける。

国連分類(クラス)

9（有害性物質）

容器等級

Ⅲ

国連番号-品名

3077（環境有害物質(固体)）

海洋汚染物質

該当

## 15. 適用法令

| | | |
|---|---|---|
| 労働安全衛生法 | ： | 通知対象物質　非該当<br>表示対象物質　非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | ： | 非該当 |
| 消防法 | ： | 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法） | ： | 非該当 |

## 16. その他の情報

記載内容の問合せ先

日本曹達株式会社　千葉研究所　第三研究部　(TEL：0436-23-4987　FAX：0436-23-4934)

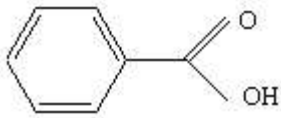
記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、
含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすもので
はありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱い
の場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中毒１１０番 | 一般市民専用電話 | （大　阪） | 072-727-2499（情報料無料）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-852-9999（情報料無料）<br>365 日 9～21 時対応 |
| | 医療機関専用有料電話 | （大　阪） | 072-726-9923（1 件 2000 円）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-851-9999（1 件 2000 円）<br>365 日 9～21 時対応 |

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。




CAS 番号　　：　65-85-0
化学名　　：　安息香酸

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

| | |
|---|---|
| 製品名 | テイクワン　Ｃ－ＡＦ |
| 会社 | 日本曹達株式会社 |
| 住所 | 〒100-8165 東京都千代田区大手町２－２－１ |
| 担当部門 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| FAX 番号 | 03-3245-6248 |
| 緊急連絡先情報 | 化学品事業部環境化学品部環境化学品課 |
| 電話番号 | 03-3245-6148 |
| 夜間緊急連絡先 | 千葉工場警備室（夜間・休日） |
| 電話番号 | 0436-23-2019 |
| SDS 作成日 | 2010 年 09 月 17 日 |
| SDS 改訂日 | 2016 年 04 月 01 日(03 版) |

## 2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

| | |
|---|---|
| 爆発物 | 分類対象外 |
| 可燃性又は引火性ガス | 分類対象外 |
| エアゾール | 分類対象外 |
| 支燃性又は酸化性ガス | 分類対象外 |
| 高圧ガス | 分類対象外 |
| 引火性液体 | 分類対象外 |
| 可燃性固体 | 分類できない |
| 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| 自然発火性固体 | 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| 酸化性液体 | 分類対象外 |
| 酸化性固体 | 分類対象外 |
| 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| 金属腐食性 | 分類できない |
| 急性毒性：経口 | 区分外 |
| 急性毒性：経皮 | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（ガス） | 分類対象外 |
| 急性毒性：吸入（蒸気） | 分類できない |
| 急性毒性：吸入（粉塵・ミスト） | 分類できない |

| | |
|---|---|
| 皮膚腐食性又は皮膚刺激性 | 区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 | 区分 2 |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 区分 1B |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 区分 １Ｂ |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | 分類できない |
| 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 水生環境有害性（急性） | 区分 2 |
| 水生環境有害性（長期間） | 区分 2 |

【ラベル要素】

絵表示（GHS-JP）

注意喚起語　危険

危険有害性情報(健康有害性)

遺伝性疾患のおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

強い眼刺激

危険有害性情報(水生毒性)

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

(安全対策)

取扱い後、顔、手をよく洗うこと。

保護眼鏡（ゴーグル型）/防塵マスク/保護手袋の保護具を着用すること。

すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。

環境への放出を避けること。

(応急措置)

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続けること。眼刺激が続く場合は医師の診断を受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断を受けること。

漏出物を回収すること。

(保管)

施錠して保管すること。

(廃棄)

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　　混合物
化学名　　2 種の有機酸を主成分とする尿石防止剤

| 化学名 | CAS 番号 | 濃度 | 化学式 | 官報公示整理番号 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 化審法番号 | 安衛法番号 |
| 安息香酸 | 65-85-0 | 50 - 95% | C6H5COOH（構造式は末尾に記載） | 3-1397 | なし（公表化学物質扱いⅠ） |
| ２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール | 10605-21-7 | ＞＝0.3% | － | 5-465 | なし（公表化学物質扱い） |

《その他の有機酸》

CAS No.　　記載せず
含有量　　5～50%
化審法　　登録済み
安衛法　　なし（公表化学物質扱い）

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール の別名》

バイオカット－ＢＭ１００Ｆ

## 4. 応急措置

飲み込んだ場合

口を水ですすぐ。気分が悪いときは医師に連絡する。

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し,呼吸しやすい姿勢で休息させる。
気分が悪い時は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を多量の水で洗う。気分が悪いときは医師に連絡する。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易にはずせる場合ははずして洗浄を続ける。眼刺激が続く場合は医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

火災時の措置

空気呼吸器及びその他の保護具を着用し、風上から消火する。
火災に際し、一酸化炭素等の有毒なガスが発生する。
周辺火災の場合は、容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には容器及び周辺に散水して冷却する。

適する消火剤

水、泡、炭酸ガス又は粉末消火剤

## 6. 漏出時の措置

漏出時の措置

飛散したものは、掃き集め、できるだけ空容器に回収する。製品は錠剤なので、形状の崩れていないものは拾い集めてもよい。

回収作業は風上から行う。回収作業の際は、保護具を着用する（保護具については「暴露防止措置」の項を参照のこと）。

回収作業後、形状が崩れて回収できない物は、多量の水で洗い流す。この際、濃厚な洗浄水が河川、下水に流れ込まないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

すべての安全注意を読み、理解するまでは取り扱わない。

保護手袋、ゴーグル、保護衣等適切な保護具を着用する。

取扱い後、顔、手をよく洗う。

保管

直射日光の当たらない換気の良い屋内で、水濡れしない場所に保管する。

酸化剤、さらし粉(次亜塩素酸ナトリウムを含む）等と隣接して保管しない。

施錠して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

《安息香酸 のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 未設定(2010 年度) |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 未設定(2010 年度) |
| 発ガン性　ＩＡＲＣ | 記載なし |

《２－メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール のデータ》

| | |
|---|---|
| 厚生労働省（管理濃度） | 設定されていない |
| 日本産業衛生学会（許容濃度） | 設定されていない（2010 年度） |
| ＡＣＧＩＨ（ＴＷＡ） | 設定されていない（2010 年度） |

設備対策

シャワー、洗眼器

保護眼鏡

ゴーグル型保護眼鏡

保護手袋
　　ゴム等不浸透素材の手袋
呼吸用保護具
　　呼吸用保護具　有機ガス用防毒マスク（事故時）　空気呼吸器（火災時）
保護衣
　　耐薬品性のもの

## 9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---|---|
| 形状 | 錠剤 |
| 色 | 青色 |
| 臭い | 特有の臭気あり |

溶解度
　　一部溶解する（水）

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性
　　通常の取扱いでは安定であるが、酸化性物質（さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等）と反応し、腐食性塩素ガスが発生する。

## 11. 有害性情報

皮膚刺激性
　　安息香酸、含有する有機酸が区分外のため製品を区分外とした。
眼刺激性
　　安息香酸が区分２（HSDB,IPCS)、含有する有機酸が severe のため、製品を区分２とした。
その他の変異原性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした
急性経口毒性
　　加算式の結果 2564mg/kg の結果より区分外とした。
繁殖毒性試験
　　区分１B であるカルベンダジムが 0.3%以上含まれるため区分１B とした。

## 12. 環境影響情報

環境影響情報
　　水生生物に毒性がある。
急性魚毒性
《2-メトキシカルボニルアミノベンツイミダゾール（カルベンダジム）のデータ》

LC50（アメリカナマズ）：0.01mg/L（96hr）

その他急性毒性

加算式の結果 1.97mg/L より製品の急性区分を２とした。カルベンダジムが難分解性のため、慢性区分を２とした。

## 13. 廃棄上の注意

廃棄上の注意

ゴミ箱または河川、湖、海等の公共水系へ廃棄してはならない。

内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

輸送上の注意

荷役中の取扱いは、慎重丁寧に行い、手かぎの使用･転倒･落下･衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。

輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載･輸送する。

酸化剤、さらし粉等との混載を避ける。

国連分類(クラス)

9（有害性物質）

容器等級

Ⅲ

国連番号-品名

3077（環境有害物質(固体)）

海洋汚染物質

該当

## 15. 適用法令

| | | |
|---|---|---|
| 労働安全衛生法 | ： | 通知対象物質　非該当<br>表示対象物質　非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | ： | 非該当 |
| 消防法 | ： | 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法（ＰＲＴＲ法） | ： | 非該当 |

## 16. その他の情報

記載内容の問合せ先

日本曹達株式会社　千葉研究所　第三研究部　(TEL：0436-23-4987　FAX：0436-23-4934)

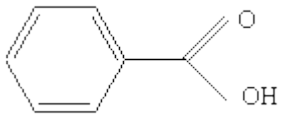
記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、
含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすもので
はありません。又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱い
の場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

公益財団法人　日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 中毒１１０番 | 一般市民専用電話 | （大　阪） | 072-727-2499（情報料無料）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-852-9999（情報料無料）<br>365 日 9～21 時対応 |
| | 医療機関専用有料電話 | （大　阪） | 072-726-9923（1 件 2000 円）<br>365 日 24 時間対応 |
| | | （つくば） | 029-851-9999（1 件 2000 円）<br>365 日 9～21 時対応 |

医療機関の方が一般市民専用電話を使用された場合も、
情報料 1 件につき 2,000 円を徴収します。




CAS 番号　　：　65-85-0
化学名　　：　安息香酸